Report (報告)

屋久島におけるアカヒゲ *Erithacus komadori* の
確実な観察記録

岡久雄二*

Authenticated Observation Records of the Ryukyu Robin
Erithacus komadori in Yakushima Island

Yuji Okahisa*

Abstract. A total of 15 individuals of the Ryukyu Robin *Erithacus komadori* were observed in the foothills of Yakushima Island every August from 2006 to 2008. The Ryukyu Robin had been rarely seen in Yakushima Island and this is the first authentic report with photographs.

Key words: Ryukyu Robin *Erithacus komadori*, Yakushima Island.

キーワード: アカヒゲ *Erithacus komadori*, 屋久島.

はじめに

アカヒゲ *Erithacus komadori* は日本固有種として繁殖し、沖縄島に分布する亜種ホントウアカヒゲ *E. k. namiyei* が絶滅危惧 IB 類に、奄美群島から男女群島に分布する亜種アカヒゲ *E. k. komadori* が絶滅危惧 II 類に指定されており (環境省 2002)、保全のための研究が求められている。大隅諸島には亜種アカヒゲが夏鳥として分布しているとされ (森岡 1976)、日本鳥類目録編集委員会 (2000) は屋久島において亜種アカヒゲが **migrant breeder** と記している。しかし、アカヒゲが近年も継続的に記録され、繁殖していると推測されるのは男女群島の 2 島、トカラ列島の 5 島、奄美群島の 5 島、沖縄島の計 13 の島のみであるとされる (Seki *et al.* 2007)。これまで屋久島においては、永井 (1951) が戦前に県立第一鹿児島中学校に屋久島産のアカヒゲとして雌雄 1 対の標本が保管されていたことを述べているほか、白井 (1956) が 1950 年 5 月 28 日に標高 200 m および 600 m の樹林で 2 個体を観察している。また、江口ほか (1989) が 1983 年 5 月 3–5 日の期間に 1 個体、同年 6 月 14 日に 1 個体を観察し、花輪 (1984) が 1983 年 6 月 6 日に標高 510 m にて囀りを聞いている。1997 年 10 月 11 日には尾之間にて雄 1 個体が観察さ

Received 20 May 2010.

* 東京農工大学農学部, 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8.

現所属: 立教大学大学院理学研究科, 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1.

* Tokyo University of Agriculture and Technology, 3-5-8 Saiwaicho, Fuchu, Tokyo 183-8509, Japan.

Present address: Graduate School of Science, Rikkyo University, 3-34-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima 171-8501, Tokyo, Japan. E-mail: ranger_bluebird@yahoo.co.jp

れたとされる(屋久島野鳥研究会 2001)。しかし、密猟や乱獲が原因と見られる個体数の減少によって絶滅状態にあるとされており(川路ほか 1989)、写真などの確実な情報に基づいた観察記録は報告されていない。筆者らが2006~2008年に行った調査により、屋久島の低山帯においてのべ15個体の観察記録を得て、うち2個体を写真撮影したので、ここに報告する。

方 法

調査地は屋久島西部の照葉樹林—スギ移行帯である。

調査は定点調査と踏査に分かれて行った。また、それらとは別にプレイバック調査を行った。定点調査は、2006年8月10~16日、2007年8月14~20日、2008年8月11~17日には調査区東側の標高900~1,400 mに設置した12定点で、2006年8月21~27日、2007年8月25~31日、2008年8月23~29日には調査区西側の標高600~1,100 mに設置した16定点で行った(図1)。定点は調査地内におよそ500 m間隔で設置しており、各年とも共通である。各定点には毎日7:00より15:00まで調査員一名が待機して個体を探し、発見した場合にはそれを記録した。

踏査は、2006年8月10~16日、2007年8月14~20日、2008年8月11~17日の4:30~16:00には調査員6名で行い、2006年8月21~27日、2007年8月25~31日、2008年8月23~29日の4:30~16:00には調査員7名が行った。調査範囲(図1)を自由に移動しながら個体を探し、発見した場合にはそれを記録した。

プレイバック調査は2008年6月1日、8月22、8月30日に共通の14地点(図1)で行った。音源はいずれも、蒲谷・松田(2001)の亜種アカヒゲのSongを用い、各地点において北東南西の順に各2分間音声を再生した。今回用いた再生機器は最大出力が0.5 W×2であり、この最

図1. 調査地位置図。番号は実際にアカヒゲが観察された地点である。▲は28定点の位置を、●はプレイバック調査を行った14地点を示す。破線は踏査を行った範囲であり、■は踏査によってアカヒゲが観察された地点を示す。

Fig. 1. The map of Yakushima Island indicating the location of study site. Each number shows the points where Ryukyu Robins were recorded. The upper solid line region illustrates the study site, and the small triangles show the 28 fixed points of observation. The dots show the 14 points of song play-back surveys. Inside of the dotted line is the censused area, and squares show the points where Robins were observed during the census research.

大出力を利用した。

いずれの調査法においても観察には必要に応じて 8~10 倍の双眼鏡を用い、観察時刻、行動、環境、個体の特徴を記録し、写真撮影を行った。

アカヒゲに類似する種として同島にはコマドリ *E. akahige* が分布するが、コマドリは頭部から上胸が赤橙褐色であるのに対し、アカヒゲの雌または若鳥は眼先から胸が汚白色であり、雄は額から胸が黒色であることにより識別が可能である。

結 果

2006 年にのべ 3 個体、2007 年にのべ 6 個体、2008 年にのべ 6 個体が観察された（付表 1）。このうち写真撮影することのできた 2 個体の記録について詳細を以下に記す。

2008 年 8 月 22 日 7 時 55 分、標高 700 m 地点 7（図 1）で 1 個体を発見する。「ギョ、ギョ」と地鳴きを発し、照葉樹林から大川林道上で採食した後、林道脇の樹高 10 m 程度の照葉樹林の中を移動しながら盛んに頭を振る（図 2）。頭上から背、翼、尾が淡い赤橙色であり、眼先から腮および胸以下の下面が汚白色であることから、アカヒゲの雌または幼鳥だと考えられた。

2008 年 8 月 22 日 8 時 21 分、標高 800 m 地点 8（図 1）で 1 個体を発見する。林道脇の照葉樹林内の藪で地表から 1 m を移動するのを発見する。頭上から背、翼、尾が赤橙色であり、額から胸は黒色、胸以下の下面は白いことはアカヒゲの雄の特徴と一致しており、額の黒色部が広く、明瞭な黒い脇斑を持つことから亜種アカヒゲであると判断された（図 3）。

図 2. 2008 年 8 月 22 日に屋久島で観察されたアカヒゲ。

Fig. 2. Ryukyu Robin observed in Yakushima Island on 22 August, 2008.

図3. 2008年8月22日に屋久島で観察されたアカヒゲ。

Fig 3. Ryukyu Robin observed in Yakushima Island on 22 August, 2008.

本報告と同じ調査区においては2002年8月20～26日の間に1個体が目視され、囀りも聞かれている（釣谷洋輔 私信）ほか、2003年8月20～26日に1個体が観察されている（太田貴大私信）。近年、屋久島の山地におけるアカヒゲの調査は十分に行われておらず、生息が見落されていた可能性がある。また今回の調査における観察時期はいずれも8月であり、繁殖期の調査は不足している。更なる調査を行い、他地域からの飛来および屋久島における繁殖個体の有無を明らかにする必要がある。

謝 辞

本報告をまとめるにあたり、梶田 学氏、茂田良光氏には多大なご指導をいただいた。釣谷洋輔氏、太田貴大氏からは私信を頂き、半谷吾郎氏、澤田晶子氏、東郷なりさ氏、早石周平氏、岡崎祥子氏、徳山奈帆子氏、ほか多くのヤクザル調査隊の方々が調査に協力して下さった。また、東郷えりか氏、小西広視氏には数多くの貴重な助言を頂いた。以上の方々に心より感謝の意を表する。

引用文献

- 江口和洋・武石全慈・永田尚志・逸見泰久・川路則友 1989. 屋久島における森林棲鳥類の垂直分布. I. 繁殖期. 日本生態学会誌 39: 53-65.
- 蒲谷鶴彦・松田道生 2001. CD Books 日本野鳥大鑑一鳴き声 420 (増補版). 小学館, 東京.
- 環境省 2002. 日本の絶滅の恐れのある野生生物 (2) 改訂版. 自然環境研究センター, 東京.
- 川路則友・樋口広芳 1989. アカヒゲ *Erithacus komadori* の分布ならびに亜種の問題について. 昭和 63 年度特殊鳥類調査, pp. 71-88. 環境庁, 東京.

- 川路則友・樋口広芳・堀 浩明 1989. トカラ列島中之島におけるアカヒゲの繁殖生態. 昭和 63 年度特殊鳥類調査, pp. 31-48. 環境庁, 東京.
- 花輪伸一 1984. 屋久島原生自然環境保全地域における鳥類. 屋久島の自然・屋久島原生自然環境保全地域調査報告書, pp. 569-585. 日本自然保護協会, 東京.
- 森岡弘之 1976. 鳥類相から見た屋久島の生物地理学的位置. 国立科学博物館専報 9: 163-171.
- 永井亀彦 1951. 屋久島の動物. 国立公園 15: 11-13.
- 日本鳥類目録編集委員会 (編) 2000. 日本鳥類目録 改訂第 6 版. 日本鳥学会, 帯広.
- Seki, S., Sakanashi, M., Kawaji, N. & Kotaka, N. 2007. Phylogeography of the Ryukyu robin (*Erithacus komadori*): population subdivision in land-bridge islands in relation to the shift in migratory habit. *Molecular Ecology* 16: 101-113.
- 白井邦彦 1956. 屋久島の野生鳥獣相及び屋久犬. 鳥獣集報 15: 53-79.
- 屋久島野鳥研究会 2001. 屋久島の野鳥ガイド. 屋久島環境文化財団, 上屋久町.

付表 1. 屋久島で観察されたアカヒゲ *Erithacus komadori* の記録.Appendix 1. Observation records of the Ryukyu Robin *Erithacus komadori* in Yakushima Island.

観察日	地名	標高	性齢	個体数	観察者	状況	文献
1950.5.20	下屋久村麦生	200 m	—	1	白井邦彦	観察	白井 (1956)
1950.5.20	下屋久村麦生	600 m	—	1	白井邦彦	観察	白井 (1956)
1983.5.3-5.5	—	—	—	—	—	観察	江口ほか (1989)
1983.6.6	—	510 m	—	1	花輪伸一	囀り	花輪 (1984)
1983.6.14	—	—	—	—	—	観察	江口ほか (1989)
1997.10.11	尾之間	—	雄	1	—	観察	屋久島野鳥研究会 (2001)
2002.8	大川林道	—	—	1	釣谷洋輔	観察	私信
2003.8	大川林道	800 m	雄?	1	太田貴大	観察	私信
2006.8.22	瀬切川左岸	630 m	雄	1	岡久雄二	観察	本研究 (定点 1 で観察)
2006.8.24	12 支線付近	1,080 m	不明	1	半谷吾郎	観察	本研究 (踏査 2 で観察)
2006.8.27	瀬切川左岸	630 m	雌または幼鳥	1	岡久雄二	観察	本研究 (定点 1 で観察)
2007.8.27	瀬切川右岸	900 m	雄 1, 不明 1	2	岡久雄二	観察	本研究 (定点 3 で観察)
2007.8.28	大川林道付近	1,000 m	雌または幼鳥	2	東郷なりさ	観察	本研究 (踏査 4 で観察)
2007.8.29	大川林道	1,100 m	不明	1	半谷吾郎	観察	本研究 (踏査 5 で観察)
2007.8.30	平瀬	840 m	雄	1	澤田晶子	観察	本研究 (定点 6 で観察)
2008.8.22	大川林道	650 m	雌または幼鳥	1	岡久雄二	観察・撮影	本研究 (本文参照)
2008.8.22	大川林道	800 m	雄	1	岡久雄二	観察・撮影	本研究 (本文参照)
2008.8.25	大川林道付近	970 m	雌または幼鳥	1	早石周平	観察	本研究 (踏査 9 で観察)
2008.8.26	瀬切川右岸	1,000 m	雄	1	岡崎祥子	観察	本研究 (定点 10 で観察)
2008.8.27	大川林道	1,050 m	不明	1	岡久雄二	囀り	本研究 (踏査 11 で観察)
2008.8.29	大川林道付近	990 m	雄	1	徳山奈帆子	観察	本研究 (定点 12 で観察)